

「次世代デジタルライブラリー」 「NDL Ngram Viewer」 と 近代日本政治史研究

第24回図書館総合展 フォーラム「#NDL全文使ってみた～「次世代デジタルライブラリー」&「NDL Ngram Viewer」」

第2部 研究者活用編 パネルディスカッション

報告者 増田知子（名古屋大学大学院法学研究科）

2022.11.1

I 全文テキスト化に取り組む研究拠点

- 名古屋大学大学院法学研究科附属法情報研究センター（2008～2017年）

目的：電子法情報基盤構築

<https://jalii.law.nagoya-u.ac.jp/jaindex>

法務省JLT日本法令外国語訳データベースシステム

総務省e-LAWS法制執務支援システム

- 2018年にスピンオフ

目的：デジタル歴史情報基盤構築

「日本研究のための歴史情報」プロジェクトを佐野智也特任講師らと立ち上げ

<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/news>

- 科学研究費

「近代日本の寡頭制ネットワークの政治経済史的分析」2016－2019

「日本の戦間期～占領期「富裕層」の政治経済史的分析－『人事興信録』30年間の分析」2021－

全文テキスト化データベースの作成と公開

データベース



『人事興信録』 データベース

『人事興信録』（人事興信所）のうち、明治36年版（初版）・大正4年版（第四版）・昭和3年版（第八版）を全文検索できます。



SCAPIN-DB

占領期（1945～1952年）において
連合国最高司令官（SCAP）から日
本政府に対して出された指令を全文
検索できます。



裁判例データベース （明治・大正編）

大審院判決録（民録・刑録）等を全
文検索できます。



『法律新聞』データベース

『法律新聞』1～92号（明治33年9
月24日～35年6月23日）を全文検索
できます。



カレントアウェアネス・ポータルは、図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、国立国会図書館の

ホーム » 人事興信録

検索

検索キーワードを入力してください。（[検索方法の詳細い説明を見る](#)）：

人事興信録

検索

検索結果

名古屋大学、『人事興信録』の初版（1903年版）のデータベースを公開

2021年4月20日、名古屋大学大学院法学研究科教授の増田知子氏、同研究科特任講師の佐野智也氏らの研究グループが、人物情報を収録する『人事興信録』の初版（1903年版）の全... 処理技術を用いた文章の解析・用語の抽出により詳細な検索が可能となっています。また、『人事興信録』と同時代の米国の“WHO's WHO”との編纂方針の比較結果等に言及されています。また、海外... ac.jp/ ※2021年4月20日付で、「明治36年版『人事興信録』データベースの公開にあたり、名古屋大学からプレスリリースを行いました。」とあります。研究教育成果情報（名古屋大学） [https ...](https://www.nagoya-u.ac.jp/news/20210420)

2021年4月21日

名古屋大学、『人事興信録』データベースを公開

2018年8月3日、名古屋大学大学院法学研究科の「日本研究のための歴史情報プロジェクト」が、人物情報を収録する『人事興信録』の第4版（1915年）の全文を検索できるデータベースを公開しました。同プロジェクトは、4年前から『人事興信録』の第1版（1903年）、第4版（1915年）、第8版（1928年）、第10版（1934年）、第14版（1943年）、第15版（1946年）のデ... /jahis.law.nagoya-u.ac.jp/news ※「2018.8.3」欄に、「『人事興信録』（第四版）データベースの公開にあたり、名古屋大学からプレスリリースを行いました。」とあります。研究...

2018年8月7日

名古屋大学、第8版（1928年版）『人事興信録』データベースを公開

2019年6月5日、名古屋大学大学院法学研究科の「日本研究のための歴史情報プロジェクト」が、人物情報を収録する『人事興信録』の第8版（1928年）の全... 採録者が他の版にも掲載されている場合、関連情報として表示され、他の版の該当ページに直接アクセスすることが可能です。また、『人事興信録』中に実親子関係がある採録者がいる場合も関連情報として表示されるようになっており、第8版が加わったことで実親子関係が多く表示されるようになったとあります。News過去の一覧（日本研究のための歴史情報） <http://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/news> ※「2019.6.6」欄に、「昭和3年版『人事興信録』デー...

2019年6月7日

【イベント】シンポジウム「総合知創出に向けた人文・社会科学のデジタル研究基盤構築の現在」（1/22・オンライン）

朝展氏（国立情報研究所教授・人文学オープンデータ共同利用センター センター長） ○第二部 様々なコンテキストによるデータの構築から総合知へ・データ駆動型研究方法論の開拓を視野に入れた『人事興信録』研究 増田... 知創出に向けた人文・社会科学のデジタル研究基盤構築の現在」（日本学術会議） <https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/318-s-0122.html> 参考：名古屋大学、『人事興信録』デー...

2021年12月23日

『人事興信録』とは

- 1903年 明治三六年四月一八日発行 第一版
- 1908年 明治四一年六月一八日発行 第二版
- 1911年 明治四四年三月二五日発行 第三版
- 1915年 大正四年一月十日発行 第四版
- 1918年 大正七年九月十五日発行 第五版
- 1921年 大正十年六月十五日発行 第六版
- 1925年 大正十四年八月五日発行 第七版
- 1928年 昭和三年七月十日発行 第八版
- 1931年 昭和六年六月二三日発行 第九版
- 1934年 昭和九年十月二八日発行 第十版
- 1937年 昭和十二年三月十三日発行 第十一版
- 1939年 昭和十四年十月二十日発行 第十二版
- 1941年 昭和十六年十月一日発行 第十三版
- 1943年 昭和十八年十月一日発行 第十四版
- 1948年 昭和二十三年 第十五版
- 1951年 昭和二十六年 第十六版

- 明治35（1902）年に内尾直二が人事興信所を創業した
翌年の明治36（1903）年に創刊した人事情報誌
- 産業革命を経た近代日本社会の最上層の人々を採録し、
身分・職業・住所・略伝のほか、戸籍調査等に基づく
家族・親族情報を掲載した点に特徴がある。
- 2，3年毎に記載事項を更新して版を重ね、昭和9
（1934）年に株式会社となり、戦時下での類書の統合
を経て、平成21（2009）年まで刊行が続いた。

人事興信録データベース

全項目一括検索		and	
版指定		選択なし	
採録者名	and	性別	選択なし
生年月日	<input checked="" type="radio"/> 日付指定 <input type="radio"/> 範囲指定 西暦 年 月 日	年齢	<input type="radio"/> 年齢指定 <input checked="" type="radio"/> 範囲指定 西暦 1915 年で ~ 歳
位階	選択なし	勲等	選択なし
功級	選択なし		
爵位	選択なし	その他・資格	選択なし
身分	選択なし	在籍地	選択なし
旧身分・家柄	and		
職業	and		
親	and	親との続柄	選択なし
家族	and		
記述部分（略伝）	and		
出身校	and	政党	選択なし or
直接国税	~		
所得税	~	営業税	~
住所	and	電話番号	and
参照人物（親類）	and	参照次数	~ 全て

シ之部 澁(澤)

(※印は姻族関係)

(原、大町村)
參照ノ坂井小三郎の項

正三位勳一等、子爵、東京市參事
東洋銀行院長、文政部議委會
員、第百銀行株主相談役

妻 かね 安政二、一生、東京、伊藤八兵衛

男 敬三 明治一〇生

孫 五位 明五九八年、長男實二郎、正

君は埼玉縣人澁澤町有番門の長男工學博士澁澤元治
同志太郎の伯父にして實業家大川平三郎は其の甥に當
る天保十一年二月號以て生まれる宗室太郎と稱し後榮
一と改め青洲と號す家代々釀を業とし君少時父祖の業
を繼ぐ間には以て書を學び劍を習ふ時給い幕政地廢し聲
擧の議會内に關係するや時勢に惑する所あり舉事を策
したれども事を擧ぐるに至らずして中止し京都の上り
一橋慶喜邸の重臣平岡四郎の推挙によりて一橋家に
仕へ其財政を整理し慶喜を改め慶應の藩制よりて一橋家に
連へり寵遇甚厚し慶應三年一橋卿葬祭の統を嗣ぎ功績
軍となるに及び巴里大博覽會を機とし清水民部大輔を
海外に差遣し其文物制度を観察せむ方に力君隨伴し
して佛國に赴き各地の事實を目撃し豁然として悟る
所あり明治元年民部大輔に従て歸朝し同二年徵されて
大藏省に出仕し租稅正令の任に在りて忝次に三等
出仕となす君大蔵權亮の任に在りて通商に兼ねる
や東京大阪の紳商を勧誘して爲替會社廻漕會社等を創
設せしが是が整理慶應の任に當れば本邦商事社會の發
達欠なし同年各省定額論に就きて議案閣下合はざ決
然拒絶して頭を下り第一國立銀行を創立して其總監役
に推され尋で頻となり拮据經營業務の擴張に努めた
運隆々以て今日の盛を致せる他君が直接間接に管理
援助せし商工業者は實に枚數に遑あらず又商業學
育に留意し始めて商法講習所を設立し後の府立商業學
校に移し其評議員となりて同校の發展に努むるは現東
京商科大學の濫觴なり又商法會議所を創設し銀行電會
所を發起し商工業者の地位を高め其信用を増強するに
力をめく先是第一期の貴族院議員に勸選せられたるも
幾くもなく之を辭し敢て政治に干與せず只管實業の振

興に盡瘁す我實業界の模範として明治三十二年（一九一九年）活動に依り華族に列し男爵を授けたりと社會事業に對する努力も亦休なくもあり東京市養育會は其創設以來院長として熱心經營今日に至り尙中央社會事業協會化學研究所効用國際聯絡協會日印協商會中華實業協會理化學會等々等を主宰し其關係せる公共團體八十餘に及ぶ義に同四十二年渡米實業團の團長として平晩の老嫗を國作的交款に盡したりのみならず國家經濟的發展の基礎を作りましたるは普く世人の知る所なり大正五年喜壽に達せるを機として第一銀行領取其教育界に於ける一切の地位を引退し専ら力を慈善公共教育の事に盡し又日米地位を親交に努め民間動勞の外交家たるの觀あり同年九年多年國家に盡したる勤勞に依り子爵に陞ざるやと譽れ壽を過ぐるが一歳強健壯者を産むもあり經濟と總務の一致資本と勞動の協調と慈善救済に力を注ぎ日々奔走盡瘁しつゝあり二男貳之助明一、二生三男三正雄同二、一、一生四男秀雄同五、一〇生は各分家し長女字多文（久三）、八生は男爵積重遺次代傳重臣に二女孝（明三）、二生は男爵佐谷芳郎に三女（芳同四、六生）は埼玉縣人尾高覺作先代次郎に五女愛同（三、七生）は岡山縣人明石照男に嫁せり（住所所東京市外濠野川町西ヶ原一〇三六電小石川四六〇）京市外濠野川町西ヶ原一〇三六電小石川四六〇参照）男爵佐谷芳郎、男爵經權重遠、明石照男、尾高覺作、大川三平、澤津孝二、澤津啟三、澤津武之助、田沼正雄、澤津孝雄、澤津元治、澤津治太郎、峯竹田政司の項

神奈川縣多額納稅者、横濱商工會議所副會長、橫濱火災海上保險、大和信託倉庫各株、取組建設、關東成各株、監査役、神奈川縣長在籍

妻 テイ
男 喜一郎 明二、六生
長女、卯茶の水高等女學校出身

君は神奈川縣人澤津喜作の三男にして明治十二年五月を以て生れる同十四年三月兄兒太郎大學を襲ひ家を相続す同三十八年東京帝國大學法科大學部法學科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして同縣多額納稅者たり家族は何二男作次（大四、三生）三男喜彦（同六、九生）四男米

(横濱、中)

男(同八) の父・文久 君は群馬縣馬場 以て生れ七 十女六事申す 前記銀行野 一、三郎 校出身)岡 女)及其子 身)同妻 同忠雄(同 神奈川縣東 人西田芳雄 參照上	澁澤 祖父 父 妻 男 母 父 澁澤
---	---

君は男子爵造
 正雄同秀雄
 十年東京京
 に入り數帳
 同族會社入
 家族は尙一

II 全文テキストによる研究事例

①『人事興信録』関係

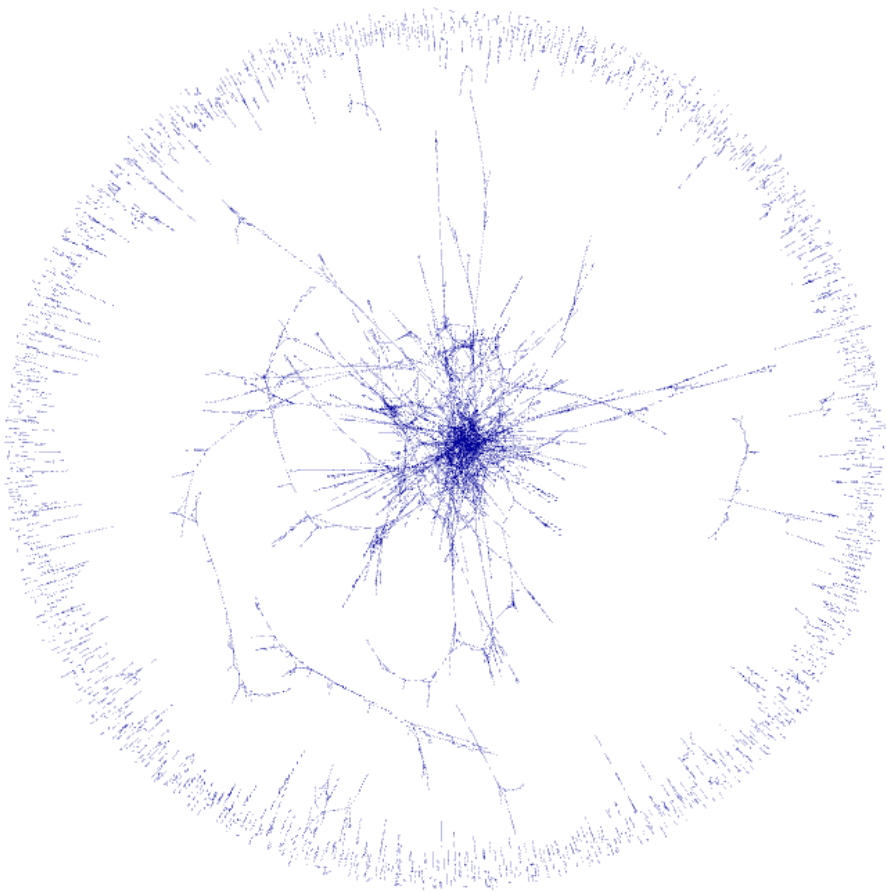
- 増田・佐野「『人事興信録』（人事興信所）の研究」（1） - （6）『名古屋大学法政論集』2017－2019

②法情報関係

- 佐野『立法沿革研究の新段階：明治民法情報基盤の構築』信山社, 2016
- 「法律文中における単語出現頻度の変化：法令テキストマイニングの一例」[小川, 中村, 外山. 2013] <https://doi.org/10.18999/nujlp.250.22>
- 「Bilingual KWIC － 対訳表現抽出の可視化による翻訳支援」[小川, 外山. 2017]<https://doi.org/10.5715/jnlp.24.75>
- 「事前学習モデルBERTによる法令用語の校正」[山越, 駒水, 小川, 外山. 2020] https://doi.org/10.11517/pjsai.JSAI2020.0_4P3OS805
- 「明治民法と各国民法との条文類似関係にもとづく立脚点の解析」[小山, 佐野, 竹中. 2020] https://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2020/pdf_dir/P1-24.pdf

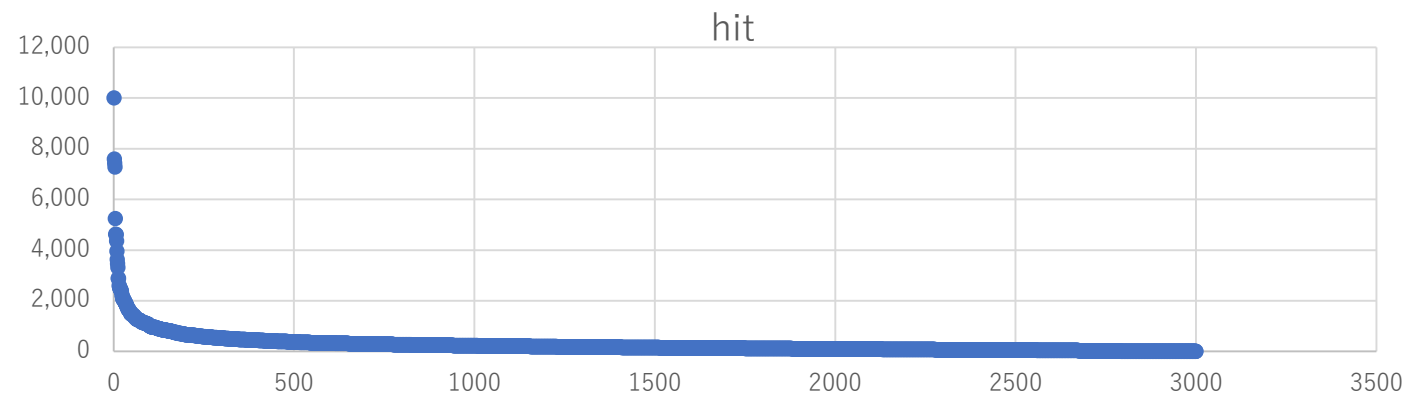
III NDL全文テキストの研究における活用可能性

大正4年版『人事興信録』採録者氏名（い～お：3587名/I39I7名）をデジタルライブラリー「全文から検索する」で検索

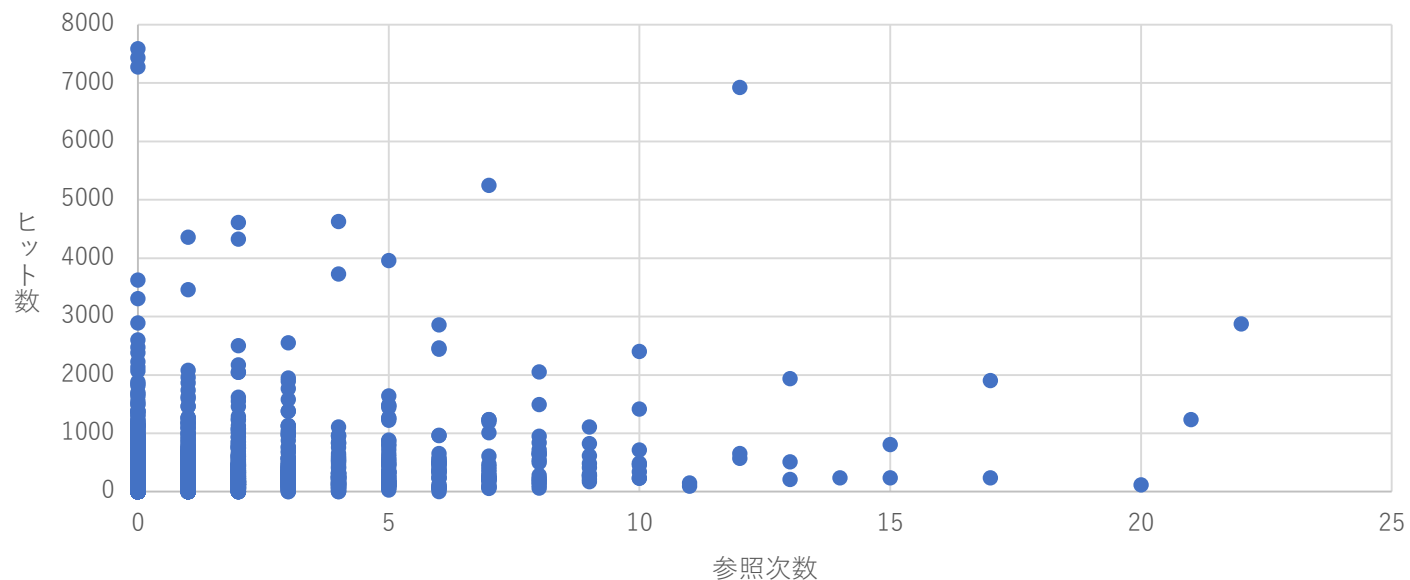


- 『人事興信録』には社会の富裕層・エリート本人、その家族及び親戚が記載
- 左図は採録者の親戚の相互参照関係ネットワークを可視化したもの
- 中心部は参照次数は多いが、極めて少数の集団が占める。
- 外縁部の次数0～2が採録者の9割を占める。→分析課題
- 参照：増田・佐野「近代日本の『人事興信録』（人事興信所）の研究」(I)、(2)

① 人名ヒットグラフ



② 参照次数とヒット数の関係を示したグラフ（散布図）



id	名前	hit	参照次数
1751	西平	10,000	0
1354	原敬	7,587	0
2087	星一	7,432	0
1471	林太郎	7,277	0
39	井上馨	5,248	7
2759	尾崎行雄	4,631	4
665	板垣退助	4,614	2
74	井上哲次郎	4,359	1
2874	大橋新太郎	3,959	5
1956	堀長	3,624	0
2390	徳富猪一郎	3,460	1
1489	林健	3,309	0
1024	石川正	2,889	0
2393	徳川家達	2,877	22
1066	石田治	2,600	0
510	犬養毅	2,551	3
1155	芳賀矢一	2,502	2
1727	新渡戸稻造	2,472	0
2060	細川潤次郎	2,462	6
1333	原六郎	2,444	6
1940	穂積陳重	2,405	10
95	井上準之助	2,381	0
71	井上圓了	2,227	0
279	伊東巳代治	2,172	2
2423	床次竹二郎	2,082	1
187	伊藤彌	2,069	0
2932	大河内正敏	2,050	8
313	伊澤修二	2,049	2
446	一木喜徳郎	2,045	2

分析結果と課題

① 人名の検索

最高10000件以上「西平」（にし たいら）－西平山 中西平治郎

3309「林健」（はやし けん）－若林健次郎、松林健吉

- 単語の検索には、提供する全文テキストデータの形態素解析が必要

② 参照次数とヒット数の関係を示したグラフ（散布図）

もし、参照次数が高いほどヒット数が多くなるという相関関係があれば、点が右上に向かう方向に分布するはずだが、そうなっていない。すなわち、次数とヒット数の間に相関関係があるとは言えない。

- 次数が低くてもヒットする人名が多くあるので、社会的に認知、評価されている度合いを知ることが可能となる。